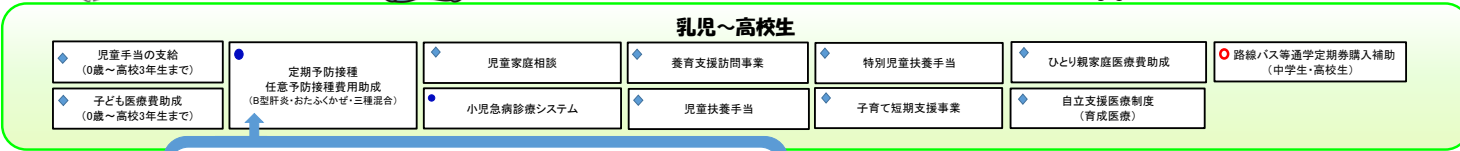


# 千早赤阪村では妊婦さんから高校生まで さまざまなサービスで子育てを応援しています！



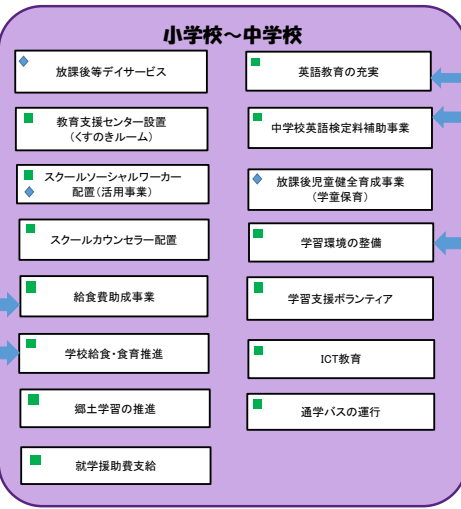
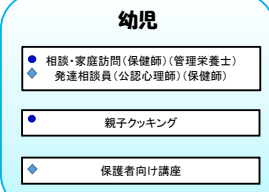
**常勤保健師が実施！**

地区担当保健師が妊婦から子育てまでサポートします。



B型肝炎ワクチン→1歳から小学6年生までの子どもに3回まで (上限計15,000円)  
 おたふくかぜ (流行性耳下腺炎) ワクチン→1歳から就学前の子どもに2回まで (上限計12,000円)  
 三種混合ワクチン→①小学校就学前1年間にある者、定期接種の三種混合または五種混合ワクチンの一期追加接種後6ヶ月以上経過した人  
 ②11歳～13歳未満で、定期接種の二種混合ワクチンを未接種の人 (定期接種の二種混合ワクチンに代えて三種混合ワクチンを接種する場合に限る)  
 (各1回 上限5,000円)

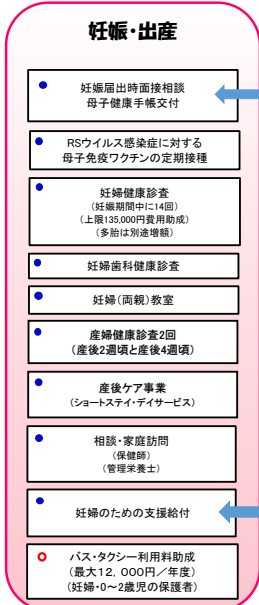
0歳から2歳の誕生日に属する月の末日までの乳児を養育する保護者に対し、おむつ、育児用ミルク、ベビーフードなどの交差費用について4,000円/月を上限に助成金を支給します。



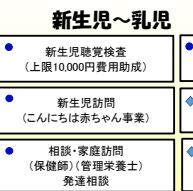
小学1年生から中学3年生までの9年間に、ALT (外国語指導助手) の配置や体験型英語教育事業の実施などコミュニケーション力を重視した英語教育を行っています。

校舎の耐震化率は100%で、全教室にエアコンを完備しています。

保護者の負担軽減を図るため学校給食費を **全額助成**しています。  
 また、学校給食では、地元産の食材も使用しながら食

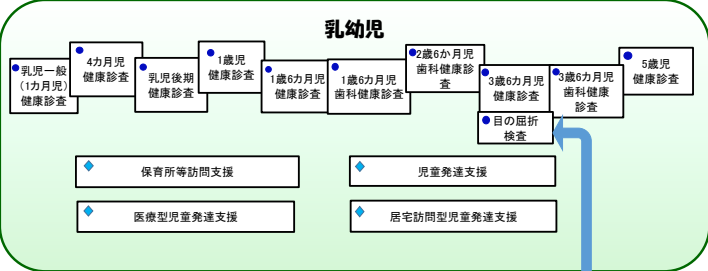


『妊婦届出時面接相談』では不安や悩みの相談から、妊婦～出産～子育てまでのさまざまなサポートについてご説明します。

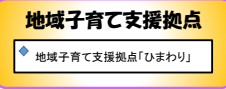


妊婦届け出時と出産時の2回に分けて給付金50,000円/回を支給します。また、保健師が相談に応じて必要な支援につなげます。

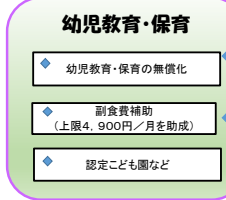
子育て支援の一環として、2歳の誕生日まで、紙おむつ用のごみシールの配布を行います。



スポットビジョンスクリーナーという機器を使って近視・遠視・乱視などの屈折異常や、角度の大きな斜視を調べます。この機器は、検査前の処置等がなく、瞬時に検査を行うことができます。



村のすべてのこども・妊産婦・子育て家庭に関する相談支援の窓口として、個々のニーズに応じた助言や情報提供など必要な支援を行います。また、地域の様々な施設や保健・医療・福祉などの関係機関との調整を行い、切れ目のない包括的な支援体制によりサポートします。



国の制度では満3歳未満の3号認定こどもについては、住民税非課税世帯のみが無償とされていますが、村の独自の施策として、認定こども園などの保育料を、保護者の所得に関係なく**無償**としています。

国の考え方では3歳児から5歳児の副食費は、保護者の実費負担とされましたが、村の独自施策として、幼稚園、認可保育園、認定こども園を利用する子どもについて、世帯の子どもの人数や保護者の所得に関係なく、副食費について月額4,900円を上限に補助します。同じく0歳児から2歳児の保育料についても世帯の子どもの人数や保護者の所得に関係なく**無償化**を実施しており、保育料に含まれる副食費も**無償**としています。

### ＜問い合わせ先＞

- ◆ こども課 (保健センター内) ☎72-0084
- 健康課 (保健センター内) ☎72-0069
- 教育課 (くすのきホール内) ☎72-1300
- △ 農林環境課 ☎26-7128
- 総務政策課 ☎72-0081

